

理科 小学校 第6学年

出題の意図及び正答率(小6)

評価の観点等

- 1 科学的な思考
- 2 観察・実験の技能・表現
- 3 自然事象についての知識・理解

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点等			正答率
	大問	小問	通番		1	2	3	
A 生物とその環境	1	1	1	肺で酸素が取り入れられることから、酸素を多く含む血液が流れている血管を考えることができる。	○			80.8
		2	2	人の体の血液の流れについて、その流れ方や仕組みを理解している。			○	78.2
		3	3				○	88.7
		4	4	小腸から養分が吸収されることから、養分を多く含む血液が流れている血管を考えることができる。	○			60.3
	2	1	5	人の口の中ででんぷんがだ液によって消化されることを確かめる実験の条件を知っている。		○		86.3
		2	6	でんぷんの有無を確かめるときにヨウ素液を用いることができる。		○		84.9
		3	7	実験結果から、だ液のはたらきを考えることができる。	○			51.2
	3	1	8	葉にでんぷんができていないときの、葉にヨウ素液をつけた場合の結果が分かる。			○	64.9
		2	9	光を当てた葉にでんぷんができていないかを比較して実験する方法を知っている。		○		42.5
		3イ	10	でんぷんができていない葉、できていない葉をヨウ素液につけたときの結果が分かる。			○	76.9
		3ウ	11				○	81.6
		4	12	結果をもとに光に当てた葉にはでんぷんができていないかを考えることができる。	○			62.8
C 地球と宇宙	4	1	13	地層の広がり方が分かる。			○	74.8
		2	14	地層のでき方を考えることができる。	○			66.7
		3	15	地層は古い時代から新しい時代へと積み重なっている層であることが分かる。			○	64.8
		4	16	地層の構成している物の特徴とそのでき方を関係付けて考えることができる。	○			71.1
		5	17	火山の噴火によってつくられた地層もあることが分かる。			○	88.4
B 物質とエネルギー	5	1	18	ものが燃えるためには、空気が入れかわることが必要であることが分かる。			○	91.3
		2	19	ものが燃えるときに空気が入れかわることを確かめる方法を知っている。		○		63.1
		3	20	ものが燃えるためには、空気が入れかわることが必要であることを考えることができる。	○			67.9
		4	21	ものが燃えた後の空気はものを燃やすはたらきがなくなっていることを予想できる。	○			84.5
		5	22	石灰水が白濁することから、ものが燃えた後、二酸化炭素ができたことが分かる。			○	84.7
		6	23	酸素の集め方が分かる。		○		91.5
	6	1	24	いくつかの水溶液を調べるとき、正確な実験を行うための操作上の留意点を知っている。		○		89.1
		2	25	気体のにおいをかぐ方法を知っている。		○		79.4
		3	26	水溶液の性質を調べる実験結果から、水溶液の名前を推論できる。	○			80.0
A	7	27	生き物は、食べ物とかかわって生きていることが分かる日常でのできごとを考えることができる。	○			84.6	
		28		○			67.1	